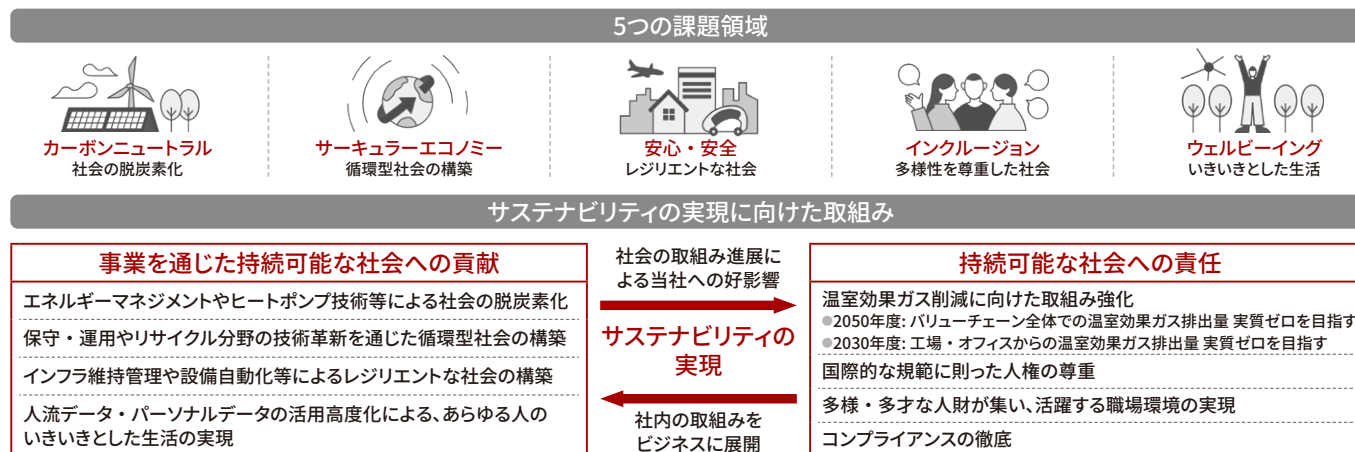


三菱電機の経営戦略

「私たち三菱電機グループは、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献します。」という企業理念は、社会における私たちの存在意義そのものです。この企業理念の下、三菱電機グループは「成長性」「収益性・効率性」「健全性」の3つの視点によるバランス経営に加えて、「事業を通じた社会課題の解決」という原点に立ち、サステナビリティの実現を経営の根幹に位置づけています。これにより、企業価値の持続的向上を図り、社会・顧客・株主・従業員をはじめとしたステークホルダーへの責任を果たしていきます。また、グループ内外の知見の融合と共創により、強化されたコンポーネント・システム及びデータを核としたソリューションを提供する「循環型 デジタル・エンジニアリング企業」へ変革し、多様化する社会課題の解決に貢献していきます。

サステナビリティ経営

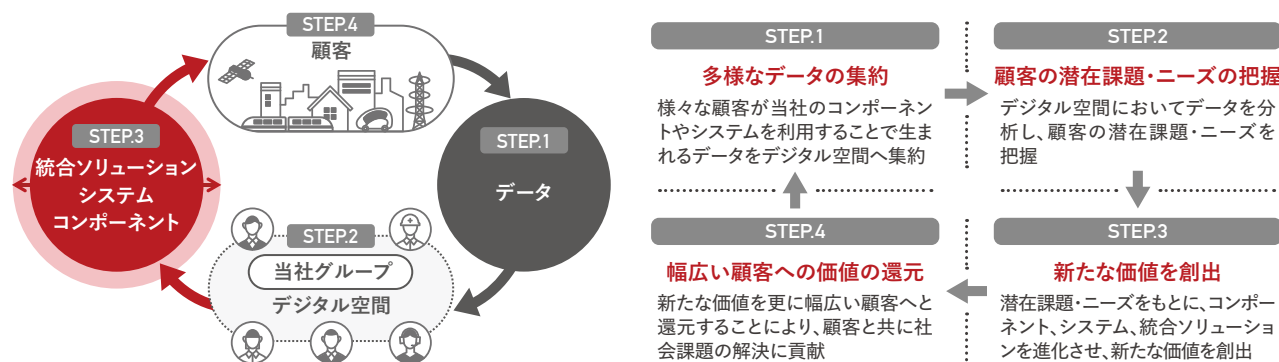
三菱電機グループは、サステナビリティの実現に向けて注力する5つの課題領域を明確化しています。これらの課題領域において、事業を通じ社会課題を解決することで、持続可能な社会に貢献していきます。また、温室効果ガスの削減に向けた取組みを強化する等、企業として持続可能な社会への責任も果たしていきます。今後も人財育成や技術開発に経営資源を投下し、社会的価値と経済的価値の双方を高めていきます。



循環型 デジタル・エンジニアリング

三菱電機グループは、お客様から得られたデータをデジタル空間に集約・分析すると共に、グループ内が強くつながり、知恵を出し合うことで新たな価値を生み出し、社会課題の解決に貢献する「循環型 デジタル・エンジニアリング企業」への変革を進めています。

この「循環型 デジタル・エンジニアリング」の実現に向け、三菱電機グループでは人財や技術開発をはじめとした、幅広い顧客を横通しするデジタル領域のアセット強化に取り組んでいます。



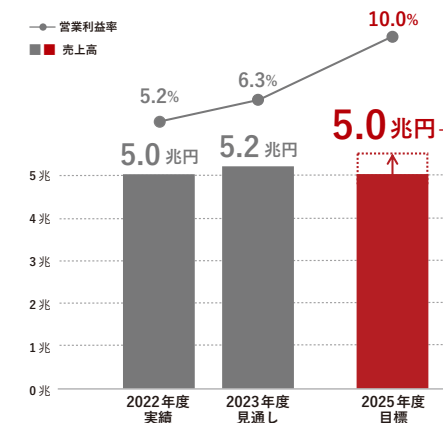
2025年度に向けた中期経営計画

2025年度財務目標

中期経営計画における、2025年度財務目標は、売上高目標5兆円を2022年度に前倒しして達成。今後は、「営業利益率10%」「ROE 10%」「キャッシュ・ジェネレーション*3.4兆円/5年」を達成すべく、事業ポートフォリオ戦略の推進と経営体質の強化を通じて更なる価値の創出に取り組んでいきます。

※ 営業キャッシュ・フローに研究開発費加算等の調整後

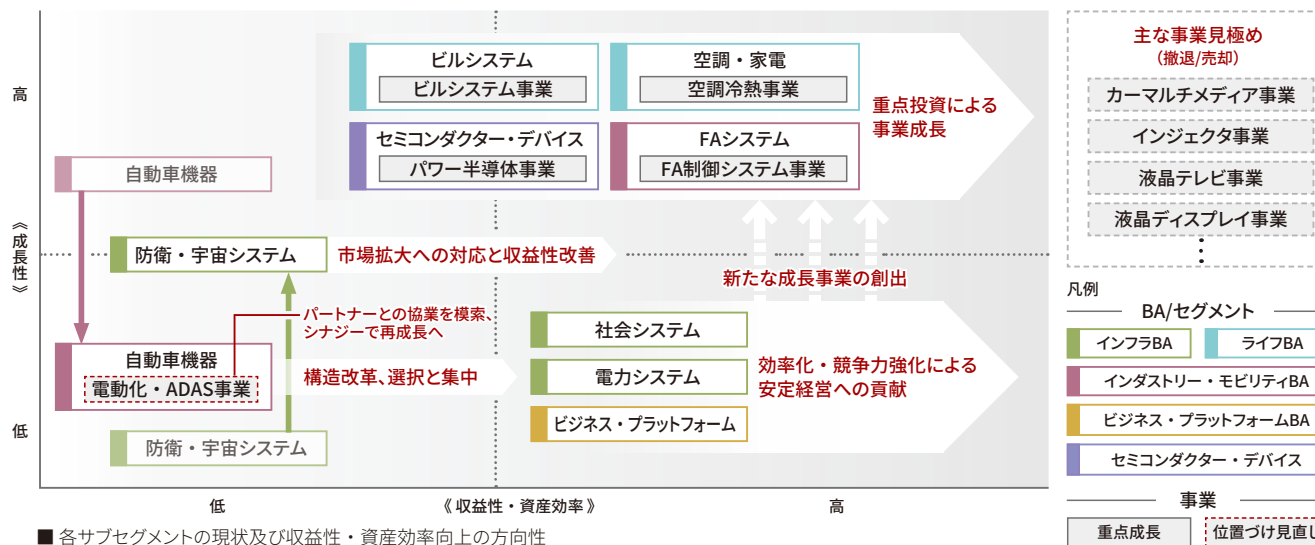
	2022年度実績	2025年度目標
売上高	5.0兆円	5.0兆円+
営業利益率	5.2%	10.0%
ROE	6.9%	10.0%
キャッシュ・ジェネレーション*	0.9兆円/2年	3.4兆円/5年



事業ポートフォリオ戦略と経営体質の強化

事業ポートフォリオ戦略

三菱電機グループは、社会変化に対応したビジネスモデル変革をスピーディーに実行するためのビジネスエリア (BA) 経営体制を更に深化・発展させていきます。各BAを統括するBAオーナーが、BA内を俯瞰した資源の再配分による収益性・資産効率の最大化を目指し、ポートフォリオの見直しを進めていきます。その中で、重点成長事業であるFA制御システム、空調冷熱システム、ビルシステム、パワーデバイスの各事業については、積極的な投資を適時適切なタイミングで実行していきます。



経営体質の強化

中期経営計画の達成に向けて、資産の有効活用や生産性改善、課題事業の見極め等により、経営体質の改善を図っていきます。

素材価格・物流費の高止まり等を踏まえた価格転嫁の上積みや、課題事業・不採算機種の見極めによるリソースシフトの加速等、具体的なアクションの実行、事業別資産効率指標であるROICを考慮した投資等により収益性と資産効率の向上を図っていきます。また、サプライチェーンにおける地政学リスクを見据え、最適なグローバル生産に向けた調達体制を追求していきます。加えて、データとデジタル技術を活用した経営管理の高度化・生産性の向上を目指し業務DXを着実に推進していきます。